

学校名 井荻小学校

記録者 会田 洋子

開催日時	2月17日(土)9:30~11:30
開催場所	井荻小学校校長室
出席者(委員)	田中校長、東海林会長、田中会長職務代理、山中委員、岩淵委員、澤地委員、稲富委員、嶋田委員、佐野委員、会田委員
出席者(学校)	小瀧副校長
傍聴者人数	0人

会議内容(次第順)

1.会長挨拶 2.校長挨拶 3.授業観察

4.報告・協議事項

(1)授業観察から

- ・タブレットを使用してみんなの前で発表の授業だったが、タブレットを見てしまい下を向いて発表してる子が多かった。
- ・伝えることの基本として、前を向いてみんなの目を見ながら発表することが大切。
- ・聞く側も下ばかり見ずに発表者に向くことが大事であり、学習の基本である。
- ・昔遊びは、各教室と中庭で行われた、教える地域の方々とも子どもたちがそれぞれじっくり向かい合えた。
- ・犬と触れ合おうは、体育館で行われ、犬には下から触れることが基本と学んだ。噛みつき事件が起こっているので真剣に取り組んでいた。
- ・洗濯体験は井戸水の温かさを体験した。昔は手で洗濯してたが、楽しさが大きく辛さは伝わらなかった。
- ・経験、体験が大事であり必要である

(2)児童、学校の様子と学校経営の状況について

落ち着かないクラスがあり、新年度への体制を検討中

(3)学校内部評価の結果と改善策について

- ・安心安全な学級づくりをめざしている。
- ・「考える子」は学力は上がってきて、研究授業などで到達度は高くなってきている。
- ・特別支援教室・特別支援学校・特別支援学級の言葉が混同している。
- ・小中連携と小中一貫教育の区別がつきにくい。連携は強化をめざして、教育は学びの連続性
- ・体力テスト結果が低い。体力作りのために、学校では短縄・長縄チャレンジや持久走タイムチャレンジを計画的に実施しているが、放課後の過ごし方や家庭での過ごし方が大きく関わっている。
- ・縦割りの学年交流により、高学年・中学年・低学年の立場の変化も体感し主体的な活動へつながっている。
- ・地域連携が活発に行われ、環境学習や体験授業の充実を図っている。

(4)次年度の教育課程の承認

重点目標を「考える子」から「やさしい子」にかえた。安心安全な学級・居場所につながる

(5)CSだよりの発行(後期号)

内容は、CSアンケート結果・三鷹第六小学校の視察・PTAとの懇談会と今年度の活動報告

3月初旬の発行予定

(6)いおぎ丸から

外部講師の方とのつなぎ役となり日中は時間を取れない先生にかわり事前に計画を立てスムーズに活動できるようにしている。先生方の都合に合わせて打ち合わせをし授業のねらいを確認し準備をしている。

5. 学校関係者評価委員会

(1)学校評価について

(2)学校関係者の評価

配布した資料を読み意見等をまとめる。次回要検討。

6. その他

PTAより…本日2/17に花火大会が行われる。CSのみなさん、地域みなさんも楽しんでいただければと思います。

次回の会議日程

日時 3月13日(水)10:00~

会場 井荻小学校 校長室